

2023 年度

研修会報告

No.2

◇ 第 2 回研修会 : 9 月 16 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 00

テーマ : 多文化理解を深めよう !



「びゅあ総合」視聴覚・音楽室

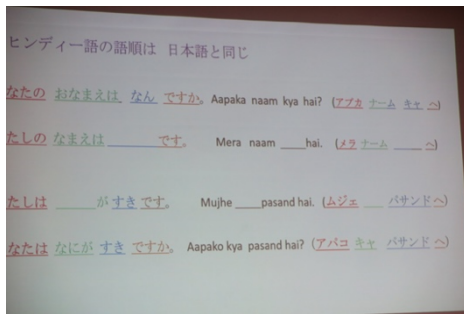
講師 : 村松芳明さん

「インド文化」と「私のインドでの日本語教育」

ヒन्दウー教とカースト制度の実態、IT 企業における日本語教育
インドに暮らしてみte 感じるこto、等

* 講師の経歴

- ・2014 年～2017 年 : JICA のシニア海外ボランティアとしてタジキスタンの大学で日本語教育に従事。
- ・2018 年～現在 : インド・アーメダバードで民間 IT 企業 (本社・浜松市) の日本語研修を担当。



★参加者：15名

(写真：長田)

第2回研修会報告

インドってどんなところ？



伊東みどり

9月16日 13時30分～16時、ぴゅあ総合で今年度第2回の研修会が行われました。講師は村松芳明さん。5年前からインドのアーメダバードにある日本のIT企業で、従業員の日本語教育を担当していらっしゃいます。

まずはインドの概略紹介から。人口は14億2860万人。最近世界一になったと報道されています。季節は大きく夏、雨期、冬に別れ、夏は45度にもなりますが、日本の35度の方がしんどいかも。9月からはいい時期で、結婚式やお祭りが多く行われる。公用語はヒンディー語、準公用語は英語だが、28の州があり、それぞれが公用語を持つ。各州は文化も政治も多様で、ヨーロッパが1つになったような国というお話もありました。

ヒンディー語の語順は日本語と同じで、
あなたの名前はなんですか。

Aapaka (あなた) naam (名前) kya (何) hai? (です)

Aapaka naam kya hai? アパカ ナーム キャヘ となります。



ヒンディー語は主に北部で話され、南部ではタミル語が主です。南部では州の公用語と英語は話すけれど、ヒンディー語はわからないという人も多いそうです。

インドは仏教の起こった地ですが、仏教徒は人口の1%にも満たず、80%はヒンドゥー教徒です。ヒンドゥー教は教祖や経典を持たず、厳格な仏教よりもインドの人々に受け入れられやすかったのでは、とのお話でした。カースト制度は紀元前にアーリア人が先住民を肌の色で差別したのが始まりで、今も下層階級は肌の色の濃い人が多い。カーストとほぼ世襲の職業が結びついて、それが職業の確保と社会の安定につながっている面もあり、一概にカーストを悪いものとも言い切れない。

学校は小学校5年、中学校3年、高校4年。かつてイギリスの植民地で、今でもいい仕事につくためには英語が必要なため英語ができる人が多い。英語ができる安い労働力が多く、数学能力も高かったため、インド政府の政策もあってアメリカのIT企業が多く参入し、IT大国の地位を確立した。ITによる諸手続きの合理化とモディ首相の汚職撲滅政策のため、かつての汚職天国は変わりつつある。2年後には日本を抜いてGDPが世界第3位となる見通し。それでも、国民の1/3は路上やスラムなど電気がない生活をしている。

インドにはコンビニがない。どんどん成長しても、世界の他の国と同じになるのではなく、インドらしさを失わないで欲しい。最後はそうしたインド愛で研修が締めくくられ、参加者は皆インドへ行きたい思いにかられて終了となりました。



◆村松芳明さん提供



ガンジス川(バラナシ市内)



ムンバイ駅のラッシュアワー



◇ **第3回研修会：12月2日（土）** 13:30～16:00

テーマ：教材を見直してみよう！



遊亀公民館(写真:村松)

～ プログラム ～

1) 「地域日本語」対象のテキスト紹介（発表者）

- ① YNV 作成 『はなしてみる甲斐』（稲谷）
- ② スリーエーネットワーク 『大地』（小林利巳：南アルプス市日本語サロンで使用）
- ③ 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業より「台東区に住むお母さんのための日本語教材」（インターカルト日本語学校作成）」（関口）

2) 「オンライン教材」の紹介（発表者） *パソコン操作：伊東

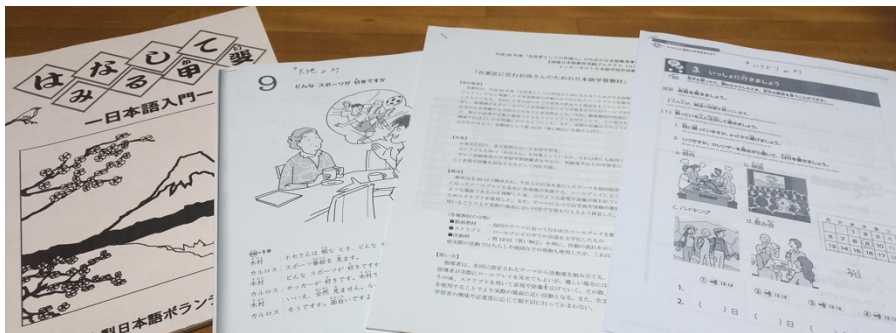
- ④ 国際交流基金作成 『いろどり』（薩川）
- ⑤ YouTube 日本語番組より「ゆみせんせいの日本語 ch」、「オンライン日本語教師あつこ」（丹沢）
- ⑥ NHK WORLD JAPAN より「Easy Japanese（やさしい日本語）」、「NEWS WEB EASY（やさしい日本語で書いたニュース）」（稲谷）



2023 年度 第 3 回 研修会報告

丹沢葉子

「教材を見直してみよう！」ということで、第一部は主に紙テキスト、第二部はオンライン教材に分かれて、それぞれ三名ずつ会員さんが紹介しあいました。以下、発表順に要点をご報告します。



左から順に、『はなしてみる甲斐』『大地』『台東区に住む・・・』『いろどり』

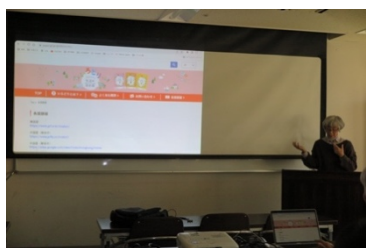
- ① 『はなしてみる甲斐』 約三十年前、YNV の創設期のメンバーが、なかなか合うテキストが無いから作ってしまおう！ということで作ったオリジナルテキストです。普通のテキストに行く前に、必要なことをもっと簡単に大枠を伝えたい、という目的で作られました。私も昔使わせていただきましたが、初級に入る前の入門で、これからこんなことを勉強していくという紹介に、とても良かったと思います。YNV の先輩方の熱意と苦勞がしのべれます。

② 『大地』 長い歴史を持つ南アルプス市日本語サロンですが、当初教材をどう



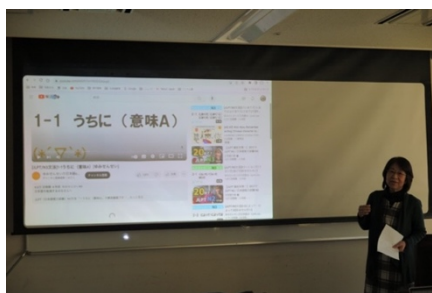
するかなかなか決まらなかったそうです。いろいろ試した結果、練習問題も入っていて絵が多く、専門知識のないボランティアでも使いやすい、ということで、この本に決まったそうです。が、今はマンツーマンで、その人に合った物をそれぞれが使っているそうです。

③ 『台東区に住むお母さんのための日本語教材』 日本に来たばかりの人で、手探りで勉強したい人向けにインターカルト日本語学校が作った教材です。スクリプトは、インターネットで無料ダウンロードできます。毎回生活上のテーマに沿ったロールプレイがあり、学習者はそれがどのような場面であるかを理解してから語彙や表現を学習していきます。ある程度クラス内のレベルに差があっても対応しやすそうだな、と思いました。



④ 『いろどり』 国際交流基金が作った教材で、音声も含め誰でも無料でダウンロードできます。各章のはじめには「この場面ではこれができるようになる」という目標を母語で確認する箇所があり、実際のコミュニケーションで話せるようになることを目的としています。ちょっと前には、同じ国際交流基金が作った同様の『まるごと』が主流でしたが、なぜ『いろどり』が新たに作られたのか、私には経緯がわかりません。現在『いろどり』についての勉強会を薩川さんが主催されています。興味のある方は参加されてはいかがでしょうか。

⑤ YouTube 番組を二つ、私丹沢が紹介させていただきました。



『ゆみせんせいの日本語 ch』 N3、N2 の文法を学習している学習者さん向けのチャンネルですが、文法を使う場面を解説する図が秀逸なので、教える側のヒントにもなると思い、シェアしました。「この文法、どうやって教えたらいいの?!」とアイディアに行き詰まったら、ぜひ該当箇所をご覧ください。

『オンライン日本語教師あつこ』 YNVには、外国語、外国人、あるいは外国に住むということに興味がある方が多いかと思い、紹介させていただきました。オンライン教師登録サイト italki に登録し、初級限定でレッスンを一杯入れ、尚且つノマドの私生活を楽しんでいるあつこさんです。私も、もし40年若かったら... 挑戦していた、かも？(笑)

⑥ 『Easy Japanese』『NEWS WEB EASY』 外国人生活者は、普段の生活の中でいろいろな日本語のニュースを耳にしていますが、そのままだと情報が素通りしてしまいます。やさしい日本語で解説したニュースを見る(聞く)ことで、ああこういう事だったのか、とわかり、日本語の知識も増えていきます。



ここで休憩。残りの時間は、お茶菓子をいただきながらのQandAタイムとなりました。

ゲスト参加の方々にも、活発に発言いただきました。

(お花の提供：長田さん)



★参加者は14名(会員11名+ゲスト3名)でした。

ゲストは南アルプス市国際交流協会主催の日本語教室(「日本語サロン」)で活動中の八木さんと間島さん、そして高校生3年生の小野さん。

小野さんは「NPO法人 Adovo」に所属しています。「Adovo」は高校生・大学生が中心となって、日本で働く同世代の外国人と交流し、彼らの生活がより暮らしやすく楽しくなるような活動を実施しています。小野さんは春から大学生になり山梨を離れますが、今後も「Adovo」の活動を続けていくそうです。若い力に期待しています。(稲谷)